

「当院の研究におけるオプトアウト」 研究対象者への通知・公開に関して

《課題名》 下腹壁動静脈の走行からみた出血リスクの検討

《研究対象者》

2017年4月から2019年12月までに能登川病院で鼠径部ヘルニアと診断された単純および造影CTを施行した20歳以上の成人を対象とします。

(1) 研究の概要について

研究課題名：下腹壁動静脈の走行からみた出血リスクの検討

研究期間：倫理審査承認日～2021年5月

研究機関・実施責任者：能登川病院 外科 油木純一

※滋賀医科大学との共同研究になります。

(2) 研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

鼠径部ヘルニアにおいて、腹腔鏡下の手術（特にTAPP法）を施行する際、メッシュの固定にタッカーを用います。タッカーにより動脈を損傷すれば出血のリスクになります。特に下腹壁動静脈は鼠径部ヘルニアの手術では術野内を走行しており出血のリスクとなります。そこで、後方視的にCT検討して下腹壁動静脈の分岐の特徴を見出すことで出血を避けることができる可能性があります。

(3) 研究の方法について

《研究の方法》

既に撮影されたCT画像で後方視的に特定部分を測定します。

利用する情報は画像検査（CTなど）の他、年齢、身長、体重、性別、既往歴、鼠径部ヘルニアの細分類名などを含む臨床的情報です。

資料提供は電子媒体で、暗証ロックをかけた上でさらに個人が特定できないように暗号化して適合表を作成します。適合表は鍵をかけた場所に保管し、解析に使用するPCからデータは持ち出さず、研究が終了して不要になれば1週間以内に消去致します。また、適合表の保管場所やPCのある室内には監視カメラが設置されているので、万が一情報が漏れた際、持ち出した人が特定できるようにしております。

資料・情報管理責任者は滋賀医科大学医学部附属病院客員助手・能登川病院外科 油木純一です

(4) 個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き

換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、(2020年5月16日までに下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

能登川病院 《窓口所属》 《対応者氏名》 油木純一
住所：521-1223 滋賀県東近江市立能登川病院
電話番号： 0748-42-1333